

# 箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟  
箕面ユネスコ協会事務局  
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20  
みのおキューズモール2Fみのお市民活動  
センター内 箕面ユネスコ協会(メールボックス)  
E-mail [sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp](mailto:sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp)

## ◆ 目次 ◆

- 活動報告
- 世界寺子屋運動 箕面ユネスコ版
- お知らせ

♪ホームページ折々に更新中!

「箕面ユネスコ協会」  
で検索してください♡

## 第4回「3, 11を忘れない」2018講演会 気仙沼の食材とお酒を楽しむ会を開催しました!

●2018年2月10日(土)

●らいとぴあ21(萱野中央人権文化センター)3階 視聴覚室

宮城県気仙沼から ゲストとして千田 健一さん(前 宮城県向洋高校校長)をお招きしました。間もなく東日本大震災から7年、被災地のその後、これからの生活やまちの復興について、ありのままの現状と今私たちが何をすべきか、考える講演会となりました。多くの皆さんのご参加ありがとうございました。また、Ⅱ部の「気仙沼の食材とお酒を楽しむ会」は大変賑やかな会となりました。

### ★★Ⅰ部 2018年箕面ユネスコ講演会

遠隔の地、大阪で「3, 11を忘れない集会」が開かれていることに、元気がでますという千田 健一前向洋高校校長の講演は始まりました。

巨大な船を遠く離れた陸地の奥まで押し込む津波の物凄さ、校舎の4階まで押し寄せる恐怖感、無残につぶされる町並みを眺める無念さ。震災のお話を聞かたび、その残酷さが新たになります。

水産高校である向洋高校に、「親父と一緒に魚を獲りたい、漁師になりたい」と入学した生徒が、津波をさけるために船を沖出しに行ったまま帰らない父に、「船はいやだ」と退学していったこと。両親など5人の家族が死亡し、残された祖父と二人暮らしで、うつ病になり、保健室登校で高校生活を過ごした生徒。いっしょに逃げた母に、崖の上で手を差し伸べ、手が触れる感触の中、母を津波に飲み込まれた悔しさ。



この光景、後悔を背負って生きていかななくてはいけない生徒。狭い仮設住宅で、父親が統合失調症になり、包丁で切りつけられた生徒。情緒が不安定になる、無力感からの非行、不登校や保健室登校などの増加、体力低下、学力低下など、潰されたインフラの向こうで、そこで生きていく人たちの根こそぎにされた生活こそが、震災の恐ろしさなんだと思い知らされました。そんな困難な状況でも、

これまでは気仙沼は旦那衆で、町のことが決められてきたが、若い人たちが「このままではいけない」と立ち上がり、復興に大きな力を発揮していること。何十年来の願いであった大島に橋が架けられたこと。

避難所で、中学生が新聞紙や段ボールで寒さをしのげること、たき火が被災者の心まで温めることなどを遅く実行していたことなど、防災教育の重要性、教育の力を感じさせる光景にも出会えたことが、気仙沼の底力だと感じる事ができたそうです。まとめのパワーポイント画面は、向洋高校卒業式での答辞のフレーズで「震災を忘れないこと。伝え続けること」でした。次の日の朝日新聞にも、大川小学校で被災した高校生が同じことを述べる記事が掲載されていました。「箕面ユネスコ協会の皆さん、ありがとうございます」と最後の画面で、冒頭の言葉と重なるお礼の心が綴られていました。

大阪・箕面で可能な被災地応援の一つの取り組みとしての確かさを実感できた講演会でした。(岡 修)

## ★★II部「気仙沼の食材とお酒を楽しむ会」



### ～ 裏方日記 ～

毎年恒例の箕面ユネスコ協会主催「食を楽しむ会」。被災地へのボランティア活動や防災啓発活動などの日頃の地道な活動の一端を知ってもらうと同時に、被災地本来の自慢すべき「美味しいもん」にこだわって、みんなで作ってみんなで食べようを実践するイベントです。



ここ数年、私は食することから参加していましたが、今年初めて、食材の調理段階から関わらせて頂きました。総勢 10 人ほどのメンバーが、淡々と自分の役割をこなしながら、他のメンバーの助手役も引き受けて、約 70 人前の献立を段取りよく完成させていきます。



初めて使う東北の食材も、「これどうやって調理するの?」「こうやって使ったらいい感じなんちゃう?」

「ああ、なるほどね!」「ほら、美味しくできた～」漫才のやり取りのごとく、笑いとお手振りを駆使して調理していきます。今回は東北名産の「ふのり汁」を担当してもらいましたが、みんなで手際よく準備できたので、参加者の料理人メンバーの中には、この日のために遠方から駆けつけた方や、年 1 回のこの日に旧友と再会するのを楽しみに裏方メニューを持参する頼もしい助っ人もいます。裏方に徹するというこのチームワークこそ、箕面ユネスコ協会の活動を支えているパワーの源だということをつくづくと感じた 1 日でした。



(須貝 昭子)



# ユネスコ リーフレットコンテスト

WEB コンテストに投票を！  
PC やスマホから「ユネスコ リーフレット」で  
投票ページへ。2月末までです

萱野東 絆プロジェクト～世界とつながろう～

萱野東小学校5年生のみなさんが参加しています！



1年を通して、友だちとの絆、世界との絆を育ててきた子どもたち。箕面ユ協も、そんな素敵な子どもたちと協働してきました。

2学期末には、4つのグループに分かれ、世界の識字事情などを調べた発表会を覗かせて頂きました。それぞれの工夫がすばらしく、質問をする子どもたちも真剣で、一生懸命学んできたことがよく伝わってきました。



♪リーフレットを見る子どもたち。写真に添えられているコピーに5年生の思いが込められています

その1グループが「リーフレットコンクール」に参加しています。日本ユネスコ協会連盟が「世界寺子屋運動」の一環として行っており、全国各地の小学生～高校生が参加する活動です。今回、萱野東小学校からも2作品がエントリー（校内予選を行ったそうです）しています。みなさん、ぜひWEBページをご覧ください。



♪各教室で協力を呼び掛ける子どもたちの姿も一生懸命です

冬休みを挟んだ12月と1月には、子どもたちは朝礼や各クラスで呼びかけ、書き損じはがきを集める活動を行いました。呼びかけに応じて集まったはがきは、926枚。「これで、80人以上の子どもたちが1か月寺子屋に通える！」子どもたちの喜びの声が聞かれたそうです。みなさん本当にありがとうございました。



で子どもたちに伝えることができました。世界とつながる醍醐味を感じてくれたことと思います。

(大濱 淳子)

さて、12月に、萱野東小学校からカンボジアの寺子屋に送られた「寄せ書き」や「折り紙」は、日本ユネスコ協会にご協力頂いて、無事に現地に届けられました。箕面の地から、東京、プノンペン、シムリアップ…と旅をし、直接手渡された様子を、送って頂いた画像や動画



## ●熊本とつながる、ゆるやかなネットワーク

熊本・福岡被災地ボランティア交流ツアー 平成29年12月22日～26日

今回の支援ツアーは36名、ファミリーメンバーはフェリーで出発。陸路がバスで22日出発23日参加者全員が熊本県西原村たんぼぼハウスの別館「ふわり」に集合しました。

23日は被災地フィールドワークとたんぼぼハウス 子ども食堂のボランティア。24日クリスマスイブ、太鼓メンバーによるミニ公演！仮設住宅に住む高齢方や一人親家庭の皆さんと石窯でピザ焼きをしました。大阪メンバーのたこ焼きもふるまいました。美味しかったです。25日には福岡県朝倉、杷木の支援柿農園



の泥かきをしました。ボランティア活動を通し、被災地の問題や課題を自分のこととしてとらえる気づきが生まれ、さらに、交流を通して被災地への理解を深めることを目的としたツアーです。



## ●平成29年度 近畿ESDコンソーシアム 成果発表会・実践交流会

1月27日(土)、平成29年度近畿ESDコンソーシアム成果発表会・実践交流会が開催されました。主催 近畿ESDコンソーシアム・奈良教育大学。会場 奈良教育大学。約140名が参加、各学校・団体でこの一年間ESDに取り組まれた成果を発表しました。

### ◆ESDシンポジウム『地域・企業と取り組んでみようSDGs』においてパネラーとして参加

「今後のESD推進にとって、企業や地域と学校現場との関係作りは不可欠」との考えから、地元企業の代表として南都銀行、地域の代表として箕面ユネスコ協会坂口会長、学校の代表として(縄手中学校で実践をされたことのある)河原先生がパネリストとして、討論会を行いました。三者の取り組みを紹介後、それぞれの立場からの成果と課題を出し合いながら、今後あるべき共同作業について模索しました。



### ◆ESD実践発表会にて 実践報告



近畿内外から、学校現場・地域におけるESD実践の発表報告がありました。「震災から学ぶ～学校、地域が協働する授業づくり～」と題し、昨年度箕面市立とどろみの森学園5年生担任の 現箕面市教育委員会 川畑憲明さん、とどろみの森学園 後藤 遥香さん、箕面ユネスコ協会より 大濱 淳子が報告をしました。(坂口 一美)

## 箕面ユネスコ協会からのお知らせ!

箕面ユネスコ協会 総会のご案内

5月20日(日) 午前10時～12時30分

萱野小学校視聴覚室で2018年度総会を開催します。

是非ご出席ください!

### ★ぜひご覧ください★子どもたちを学校へ

気軽に参加できる、「タンヌ遺産ダンス」のムービー編 「遺産を募金」に

<http://www.unesco.or.jp/terakoya/kakisonji/>

書きそんじハガキ、未使用切手、プリペイドカードの3兄弟が、かわいいダンスと歌でご家庭に眠った「遺産」について呼びかけています!